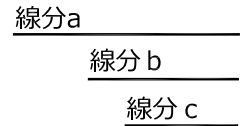


例題

線分a、b、cがあります。

線分a、b、cを三辺とする三角形を作図してください。

※三角形の決定条件の1つ（3つの辺わかれば三角形ができる）です。



解答例

■与えられた図形を利用して、次の作業を終わらせておきます。

□各線分長を半径とした円を作図しておきます。…「円a」、「円b」、「円c」

コマンドを使って作図

三角形の底辺とする方向に線分Iを作図する

コマンド：[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定：線分の始点位置までカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定：線分の終点位置までカーソルを移動してクリックします。

[Enter] キーまたは [Esc] キーを押します。 ①



線分aの長さを移す

円aを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定：線分aの端点までカーソルを移動してクリックします。

目的点を指定：線分Iの端点Aまでカーソルを移動してクリックします。

線分Iと円aとの交点をBします。 ②



線分bの長さを移す

円bを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定：線分bの端点までカーソルを移動してクリックします。

目的点を指定：線分I上の端点Aまでカーソルを移動してクリックします。 ③



線分cの長さを移す

円cを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定：線分cの端点までカーソルを移動してクリックします。

目的点を指定：線分I上の交点Bまでカーソルを移動してクリックします。 ④

円bと円cの交点をCします。



指定された線分の長さで三角形を描く

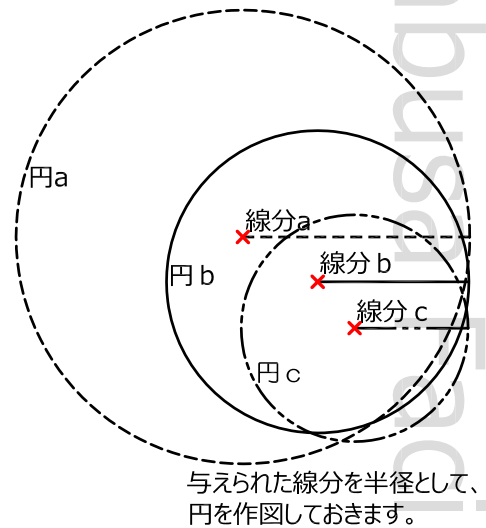
コマンド：[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定：端点Aまでカーソルを移動してクリックします。

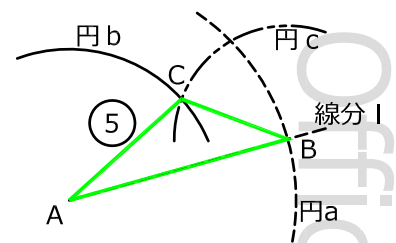
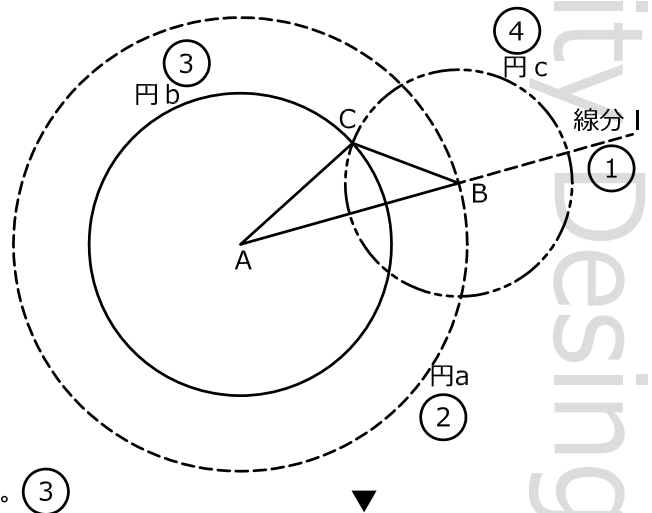
次の点を指定：交点Bまでカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定：交点Cまでカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定：端点Aまでカーソルを移動してクリックします。 [Enter] キーまたは [Esc] キーを押します。 ⑤ 終了



与えられた線分を半径として、円を作図しておきます。



線分a = \overline{AB}
線分b = \overline{AC}
線分c = \overline{BC}